

令和元年度
学校関係者評価報告書

学校法人 江楠学園 佐賀工業専門学校

1. 学校関係者評価の目的

学校法人江楠学園佐賀工業専門学校における学校関係者評価は平成19年に学校教育法及び学校教育法施行規則の改正により、自己評価、学校関係者評価の実施・公表、評価結果の設置者への報告に関する規程が新たに設けられたことを受け「専修学校における学校評価ガイドライン」に沿って以下のことを目的として実施する。

- ① 自己点検評価の評価結果について、学校外の関係者による評価を行い、自己点検評価結果の客観性・透明性と併せて信頼度を高める。
- ② 学生・卒業生、関係業界、中学校・高等学校、保護者・地域住民、所轄官庁・自治体の関係部局など、専修学校と密接に関係する方々からの理解促進や連携協力による学校運営の改善を図る。

2. 学校関係者評価委員の構成

学校評価委員は、以下の人員で構成する。

- ・ 関連業界等関係者 5名
- ・ 教育に関し知見を有する者 1名
- ・ 卒業生 1名

3. 学校関係者評価の実施方法

例年、5月中旬に開催していた学校関係者評価委員会は新型コロナウイルス感染症による感染拡大防止の観点と県境をまたぐ移動の制限併せて各委員の皆様の安全を優先し、各委員の皆様には、事前に使送・郵送で配布した報告書並びに本校のホームページ上で公開されている学校情報等で理解を深めていただいたうえで、令和元年度自己評価結果をもとに6月までにご意見を収集した。これをもって委員会の代替えとし、以下のとおり意見の取りまとめを行った。

4. 学校関係者評価委員からの意見並びに特記事項

(1) 教育理念・目標

特記事項

- ・自動車学科においては、電気・電子化への変化に対応するため職業実践専門課程の特色を活かし関係業界団体・企業との連携を図り最新の実務を修得させる必要がある。また、令和2年度より特定整備制度の施行に伴い認定要件を満たすように取り組んでいく。
- ・エアポートサービス学科においては、座学と実習の充実を図る。(校内実習ができる環境の特色を活かす。)併せて採用試験に向けて早期に試験対策を取り入れ就職内定を確定させる。
- ・育成人材像については、社会人としてだけでなく採用企業が求める人材像を把握し、必要なカリキュラムを定め採り入れていく。
- ・学校理念等の周知については、あらゆる機会を利用し保護者並びに学生にも周知するとともに、その理解度の把握にも努める。

委員からの意見

- ・建学の精神を改めて拝見しますと、単なる人材ではなく「人財」となれ、との奨励と見受けれます。すでに実施されているかもしれませんが、せっかくこのような素晴らしい精神があるので、入学した学生にこの精神通りの人材となるためには学生の間どうあるべきか何のために入学したのか等を改めて考えさせたり、個人目標を設定させるなどはどうでしょうか？

(学校から：委員からのご助言を参考にぜひ具現化させる。)

- ・今後の改善方策にあるマナー・コミュニケーション力向上へむけて、現在実施されている取り組み策をご教示いただきたいです。

(学校から：外部講師を招いてのセミナーを開催。1年次は社会人としての基礎的なマナーと就活対策講座11時間。元年度から2年生に対しても1年次の復習を含め就職後に役立つテーマでの講座6時間)

- ・評価が「3のやや不適切」の項目については、何らかの施策が必要と考える。

(学校から：周知の徹底については、保護者の学校評価アンケートなどの機会を利用し周知を図る。)

- ・自動車学科が二級自動車整備士8年連続100%の目標を立てて、それを見事に達成されておられることは素晴らしいことであり、生徒の皆さんの頑張りはもちろんのこと、支え指導されている先生方の熱意に敬服します。

(学校から：教育目標達成の指標となる数字にとどまらず学生の目標達成という自信の付与に繋がることから引き続き指導力の維持向上に努めていく。)

- ・実学重視の教育として、教育理念・目標は申し分ない。

- ・建学の精神に基づく人材育成の目標は素晴らしいと感じております。

(学校から：これからも本学園の建学の精神である「何処の場にありてもなくてはならぬ人となれ」を理念とし人材育成に努めていく。)

(2) 学校運営

特記事項

今後も評価項目に添って適時改善を重ね取り組んでいとともに教育活動等の適切な情報公開に努める。

委員からの意見

- ・自動車学科においては、今年で8年連続100%合格。これは他の学校ではあまり例を見ないことで、運営面、学生募集においても学校の強みとしてアピールできると思います。

- ・HPでのブログや卒業生からのメッセージなど情報公開ができていると思う。

- ・事業計画、情報公開等十分になされている。

- ・運営方針に沿った事、業計画においては、正しい見識を持って社会変化へ速やかにかつ柔軟に対応されていると認識しております。

(学校から：開かれた学校づくりを目標に事業運営を今後も進めていく。)

- ・学生の確保が最大の課題となるのではないのでしょうか。そのためには、教育活動の可視

化も大切なことです。北陵高校のHPから専門学校に繋がるようにリンクを貼って情報を取り出しやすくすることもいいのではないのでしょうか。

(学校から：委員のご指摘の通り高校側へリンク作成の依頼をお願いします。)

(3) 教育活動

特記事項

運転支援技術・自動運転技術など先進技術搭載車が急速に普及し義務化される環境の中にあつて整備士養成機関の本校は、国家試験に向けた対策は従来どおり継続しつつ、教員に対しては新たな技術に対する知識等の修得に向けた各種研修会等へ積極的に参加させ、学生に対する教育の質を確保し更に向上させる。

委員からの意見

- ・産学連携は、充実しているとお見受けします。就職への意識づけにおいては産との交流は効果的かと思えます。

(学校から：今後も職業実践専門課程の特色を活かし企業との連携を図っていく。)

- ・北陵生との交流活動や授業交流を通して専門学校の先生方とも顔見知りになり、つながりに深みを持たせていく。その中で就職のことについてもアドバイス等をもらうことで専門学校の良さや強みを高校生も実感できるのではないかと思います。エアポートサービス学科では、実習の様子を間近で見ることができるのは強みであり、もっと同学園内姉妹高校も進学してほしいと感じています。

(学校から：同学園内でもあることから交流事業も強化していきたい。)

- ・教育活動は十分なされている。
- ・具体的な目標を掲げ、達成に向けた編成・実施が実践されていると認識しております。
- ・課題である先進技術搭載車対応は急務である。

(学校から：先進技術搭載車など高度化に伴う制度改正にも速やかに対応し、教育に遅滞の無いよう取り組む。)

(4) 学習成果

特記事項

卒業生の活躍等の把握は、可能な限り会社訪問時に確認し情報を共有する。

委員からの意見：

- ・卒業生が就職先においてどのような評価を受けているかを追跡することは、在校生への指導にも参考となり活きるのではないかと思います。上司や採用担当者へのアンケートなど有効ではないかと考えます。また、退職者（特に3年未満の早期）については、その理由などを把握し、アンマッチを防止するのに参考にしたい。
- ・卒業後、接点を持ち続けるのは難しいと思うが、引き続き就職先企業との関係を大切に卒業生の応援をしていただきたい。
- ・結果実績（就職率等）は他校の模範となる高い水準にあります。アフターフォローの観点から、卒業生の意見交換は必要かと存じます。また1年・3年・5年後の進捗を本人並びに企業と意見交換し、在校生及びその親族へフィードバックすることが、進路選択

の一助になるものと存じます。

- ・卒業生に対する就職後のアンケート調査等が課題として考えられる。

(学校から：委員のご意見を参考に訪問・アンケート形式など対策を具現化していく。)

- ・学校評価アンケート（保護者）の集約結果と自由意見を拝見しましたが、アンケートでは「④悪い・⑤非常に悪い」の項目への回答がゼロというのはすごいです。自由意見でも先生方への感謝の言葉がたくさんあり素晴らしいと思います。自己点検評価も高く、課題についても的確に把握されていると思います。

- ・資格取得、就職率ともに十分達成されている。

(学校から：資格取得率・就職率については現状に満足することなく堅持したい。)

(5) 学生支援

特記事項

健康管理体制については同学園内（同敷地内）の保健室と連携し管理体制を維持したい。

昨今のコロナ禍の状況においては学園主催の衛生委員会などを利用し最新の情報を学内で共有する。

また、不測時の怪我等に対する対処方法「受診マニュアル」の作成などに取り組む。

委員からの意見

- ・卒業生からよく耳にするのは「先生方がよく相談に乗ってください」「分かるまで根気よく教えて下さる」などの声で信頼関係が伝わってきます。休みの日の学校へ遊びに行ってきた、なども御校卒業生からよく聞く言葉です。高い評価が出ているように御校の進路、就職への支援体制もそうですが、通常の授業についても手厚い、学生に寄り添っていると感じております。

- ・アパートの斡旋、助成金等の紹介等十分なされている。

(学校から：委員からのご意見の部門に止まらず支援体制の充実に努める。)

- ・貴校卒業生以外において、喫煙の習慣を持つ新入社員が散見されます。弊グループを含め航空業界は健康管理に重点を置き禁煙を推進していることを、在校生へアピール頂けると助かります。

(学校から：本校においても敷地内全面禁煙であり併せて健康面からも大きなリスクになるなど禁煙に向けた教育にも取り組んでいる。)

- ・在学中の健康管理に関しては産業医の利用等が一考される。

(学校から：学園内保健室との連携強化と衛生委員会などで体制を維持したい。)

(6) 教育環境

特記事項

実習教材の更新については計画的に取り組む。

委員からの意見

- ・更新を検討する実習教材は、どのような教材でしょうか？

(学校から：実習車両及び検査器具を計画的に行って行く。)

- ・課題である実習教材等の更新は先進技術搭載車への対応ともども重要である。

(学校から：先進技術搭載車への対応を進めている。)

- ・以前、教育課程編成委員会においても申し上げましたとおり、実習教材での教育体制が確立されていることを高く評価しております。

(学校から：TT車・コンテナなど令和元年度に更新し実習に取り組んでいる。)

(7) 学生募集

特記事項

高卒者の減少併せてコロナ禍にあって対面式ガイダンスなどの中止も相まって募集を取り巻く環境はさらに厳しさを増している。このような中において県が取り組む魅力発信事業に本校も積極的に参画しマスメディア・SNSからの発信にも取り組む。また広報物(パンフレット・チラシ)については、インパクトを重視し広報効果を向上させる。

委員からの意見

- ・保護者様アンケートでポイントが最も低かったのが「広報活動について」。教育体制、学生支援等が手厚く充実しているぶん余計に惜しい結果かと思えます。高卒就職率も高い中、最も難しい課題といえるかと思えますが、この強化がカギになると認識します。自動車販売会社にとって整備士はなくてはならない存在です。すでにアピールされていると思いますが、オープンキャンパスに参加させていただくときに、実際に販売店の担当者が話すように、この学校で学んで国家資格を取ることによって、就職先に困らないなどと強調すべきかと思えます。
- ・高卒の就職状況が良好なため、進学するより早く就職をという生徒が多く、専門学校卒業のメリットについて具体的に示していく必要があると思われまます。特にエアポートサービス学科は、学生の増加を目指す必要があり、同学園内姉妹高校から進学していく流れをどうにか作れないかと考えております。専門学校へスムーズに連結が図っていければ、本校の自動車学科や航空科にもいい影響がでてくると思っています。航空科も生徒減で厳しい状況です。また、新型コロナウイルスの影響もあり経済的に厳しい家庭も多くなってきています。卒業後は進学せずに働きだすという生徒もこれまで以上に増えてくるかもしれません。高校側と連携しながら、進学するメリットと支援制度について生徒へしっかりと理解・周知させていくことが必要ではないでしょうか。
- ・就学支援新制度を活用して進学した場合の負担額について、具体的な数字緒等による提示があれば参考になると思えます。例えば月額授業料がいくらとか・・・産業技術学院との比較も
- ・少子化により他業種との競合が今後一層激化することが予想される。
- ・業界団体ともども情報発信、自己PRが必要である。
- ・弊社では新型コロナウイルス対策の一環から、企業アピール動画「お客さまをお迎えする準備はできています」を作成し、ユーチューブ等へのアップを準備しております。近くご案内申し上げますが、航空業界を希望される方々へグラウンドハンドリングのイメージ参考として視聴いただければ幸いです。

(学校から：各委員の皆様より多くの改善策をご教示いただきました。このアドバイスを募集広報活動にぜひ活用させていただきます。)

(8) 財務

特記事項

情報公開・監査等は適切に行われている。財務基盤を盤石にするため定員の充足率向上が必須の課題である。

委員からの意見

- ・学生の充足が根幹との事で、募集活動にも直結する課題であると認識します。
- ・一定数の生徒の確保が重要であり、そのためには魅力ある学校づくりは基より業界自体の魅力発信が重要と考えます。
- ・航空業界の魅力をアピールすることは、貴校への興味を高めることにつながると存じます。各種イベントにおいて、弊社作成のイメージ動画も利用価値はあると感じます。
(学校から：各委員からのご意見・ご助言を如何に具現するかが課題克服に直結する。)

(9) 法令等の順守

特記事項

法令・設置基準並びに自己評価の公開等は、適切に実施され遵守されている。

委員からの意見

- ・各企業コンプライアンスが重要視されている中、引き続きご指導していただきたい。
- ・特に個人情報管理については、セキュリティによる管理体制と最後はヒューマンエラーにかかわってくることになると思います。
- ・情報公開については問題ありません。
- ・厳しい自己評価が学校運営へ繋がることから、内外の関係者より聞き取りを重ねることで問題点の深堀推進を願います。
(学校から：各委員からのご意見を基に厳格な法令等の順守と情報公開を推進する。)

5. 学校関係者評価総括

令和元年度においては新型コロナ感染症拡大防止の観点から、このように文書による意見聴取にて委員会開催の代替えと致しましたが、これまで一同集っての開催と同様に細部にわたり、ご意見・ご助言等を賜り感謝申し上げます。今回頂戴いたしましたご助言等を今後のより良い学校づくりに活かし、自己点検評価が真に役立つものとなるよう職員一同、引き続き努めてまいります。